

協議等の記録			
協議名称	広報広聴会議（広聴部会）	協議場所	第1委員会室
		担当職員	田中 悠馬
日時	令和5年9月8日（金曜日）	開議	午後 3時 18分
		閉議	午後 4時 03分
出席委員	○富谷 松山 土岐 山木 <浅田委員長> <三上>		
事務局	数井次長 野澤副課長兼総務係長 田中主事		

協議の結果

1 議場見学会アンケートについて

<山木委員>

- ・参加者から「会議しているところを生で見たい」との感想があり、議員がどのような活動をしているのか興味を持ってきてくれた。保護者からも要望があるように、対象年齢を細分化し、それに応じた内容をそれぞれ考える必要があると感じた。

<土岐委員>

- ・「また開催してほしい」と要望があるように継続して取り組んでいくことが重要であると思う。議会だよりとSNSを見て申込みをされた参加者が多く、次回以降開催時の広報方法として参考にしたい。

<松山副部長>

- ・ぜひ2回目も開催したいと思う。議員からもまた開催してほしいとの声があった。また、他の広聴活動との兼ね合いもあるが、冬休み期間や年に2回の開催など時期や頻度についても検討していきたい。

<富谷部長>

- ・「お金の仕組みを教えてほしい」や「市役所職員の仕事を知りたい」など具体的なご意見をいただいたため、市民の声を取り入れ、今後の議会活動に反映できるように参考にしていきたい。2回目開催時には、広報広聴会議委員だけでなく多くの議員に参加していただける形で計画していきたい。

○開催の時期や期間については今後の広聴部会で検討する必要があるが、第2回も開催する方向で進めることとする。

○今年度実施した広聴活動「街頭インタビュー」及び「議場見学会」について、市議会だよりだけではなく活動報告として市議会ホームページに掲載することとする。

2 わがまちトークについて

開催は来年度を目途とする。

○令和2年2月に開催した千代川町自治会を参考に、わがまちトークの概要・フローについて確認を行った。(資料参考)

- ・令和元年11月に開催した西別院町自治会とのわがまちトークは従来の方法(対面形式)で行い、千代川町自治会ではグループワーク形式で行った。両方に参加された参加者からは「後者のほうが話しやすかった」とのご意見をいただいていたため、参加者全員が意見を発言できるよう対面ではなく今後もグループワーク形式を継続する方向で検討する。
- ・市民が話しやすい雰囲気をつくり、より多くの意見交換が行えるよう議員へのファシリテーター研修など、円滑に協議が進むよう検討を行う。
- ・「議会報告会」のように一方通行で報告を行うのではなく、広聴の一環として市民の意見を聴くことに重きをおいた活動とする。
- ・募集について、気軽に参加申込みをできるような広報方法を検討する必要がある。(千代川町自治会とわがまちトークを行っている様子を掲載する等)

○来年度の開催に向けて、他都市で行われている事例を参考にし、次回、実施計画・内容等について協議することとする。

3 その他

○今後予定

<9月26日(火)定例会休会后 午後予定>